



新刊書籍のご案内

**発達障がい、不登校から家族支援まで
これからの教育支援を考える書籍 2 冊発売！**

「困っている」子どものこと 一番に考えられますか？

～発達障がい、不登校、元気な子… すべての生徒に独自のインクルーシブ教育を～

【本書の背景】

発達障がい等への支援 約 8 割が「必要なし」

文部科学省が平成 26 年 12 月に公表した「学校基本調査（確定値）」では、「不登校」を理由とする生徒児童数が 119,617 人で、前年度調査より 6,928 人増えたことがわかりました。不登校の理由には様々な要因が挙げられ、その中には LD（学習障害）や自閉症などの発達障がい複合的に絡み合っているとも言われています。

そんな中、文部科学省が平成 24 年 12 月に公表している「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」では、「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合」が 6.5%いるとされました。そのうち、38.6%が「いずれの支援もなされてない」と回答されており、また各学校が設置する校内委員会において「特別な教育的支援が必要と判断されているか」との質問には 79.0%が「必要と判断されていない」と回答されています。

目の前で苦戦する子どもに誰も手を差し伸べられない事態が、今多くの学校で起こっています。

【本書の内容】

発達障がい、不登校、引きこもり、非行が一緒に成長。独自のインクルーシブ教育の実践記録

大阪市の東朋高等専修学校には、発達障がいのある生徒が 3 割在籍。そのほか多くの生徒が中学校時代に不登校を経験しており、また、非行や問題行動を理由に他の学校で入学を断られてきた生徒たちもいます。同校では、こうした生徒たちが日々、共に学び、様々な体験を通して社会で自立する力を身につけるインクルーシブ教育を実践しています。そんな同校は、かつて厳しい管理教育によって多くの退学者を出し、周囲のイメージ悪化で一時は閉校寸前まで追いやられていました。学校立て直しを任された著者、太田功二は、様々な弊害を乗り越えながら「一人ひとりに目を向ける」個性教育を実現させていきます。やがて学校は約 10 年で生徒数が 4 倍になるまでの人気校に。「話が伝わらない」「パニックを起こす」「学校へ通えない」などの課題を抱えた生徒たちが、十人十色の支援によって成長していくまでの様子と、生まれ変わっていく学校を描いたノンフィクションです。



【著者プロフィール】

太田功二（東朋高等専修学校 校長）

1957年、兵庫県神戸市生まれ。プロ野球選手を志し、高校は甲子園名門校へ進学するも、自身の実力を思い知らされ挫折。唯一残された目標「保健体育」の教員を目指す。

大学卒業後、水泳インストラクターを経て教員となるが、初めて赴任した学校は関西でも有数の「やんちゃ」校。ここで「生徒の声に耳を傾ける」心の通った指導の大切さを知る。平成7年に阪神淡路大震災を経験。務めていた学校も倒壊し閉校を余儀なくされる。

1997年、知人の紹介で大阪市の東朋高等専修学校へ赴任。厳しい管理教育から抜け出せない学校の実態を知り、一時は退職を決意。しかし、その後学校改革を一任され、健常児と障がい児だけでなく、不登校、引きこもり、非行なども含めた本格的な「共生教育」「自立支援」を実現させた。

【本書の概要】

「困っている」子どものこと 一番に考えられますか？
～発達障がい、不登校、元気な子…
すべての生徒に独自のインクルーシブ教育を～

発行：学びリンク

定価：1200円＋税

版型：四六判 212ページ

発売：2015年3月（発売中）

ISBN：978-4-902776-91-1

担当者：編集部 小林

【お問い合わせ先】

一人ひとりに合った学びの場を提案する出版社
「学びリンク株式会社」

企業 HP：<http://manabilink.co.jp/>

ポータルサイト：「通信制高校があるじゃん！」

<http://www.stepup-school.net/>

担当者：編集部 小林



新刊書籍のご案内

子どもと夫を育てる「楽妻楽母（らくさいらくぼ）」力

～不登校・引きこもり・夫婦のすれ違い、すべて解決！～

【本書発行背景】

「良妻賢母」が子どもを育ちそびれさせる

不登校で悩む家族 2000 世帯以上のカウンセリングを実施してきた、家族支援カウンセラーの森薫（元通信制高校副校長）は「不登校」など、思春期の子育てで悩む母親の 8 割は家事・育児に真面目で、努力を怠らない『良妻賢母』思考であると語ります。また、そういった母親を妻に持つ父親も「男は仕事、女は家事育児」という伝統的価値観を好む傾向にあります。

しかし核家族のなかで「子育ては母親の仕事」とすると、「子どものでき＝母親のでき」となってしまう、母親に「子どもを優秀にしなければ」というプレッシャーがかかるだけでなく、母子関係が密接になり“過保護・過干渉”が起きやすくなります。特に自我が芽生える思春期では、母親の期待と子どもの思いがすれ違い、子どもにストレスがたまり、うつや自律神経失調症などを引き起こし、不登校になってしまいうつやすくなるのです。

【本書の内容】

肩の力を抜き、わが子のありのままを受け入れる『楽妻楽母』の子育て

学びリンクが 2015 年 3 月に発売した、『子どもと夫を育てる「楽妻楽母」力：不登校・引きこもり・夫婦のすれ違い、すべて解決！』（森薫著）は、学歴重視・完璧主義になりやすい「良妻賢母」を目指す母親たちに、肩の力を抜き、わが子のありのままを愛する「楽妻楽母」を勧めることで、家族が本当の幸せを手に入れる方法を紹介しています。

第一章から第三章までは、著者が今まで出会ってきた、苦戦する家族の事例を示し、その原因を解説。そして最終章である四章では心を軽くする「楽妻楽母になるための 15 のスキル」を紹介します。思春期の子どもを持つ母親が、母としての自分、妻としての自分、また子どもとしての自分を見つめて、改めて一人の人間としての幸せを見つけるきっかけになる書籍です。



【本書の概要】

子どもと夫を育てる「楽妻楽母（らくさいらくぼ）」力
～不登校・引きこもり・夫婦のすれ違い、すべて解決！～

著：家族支援カウンセラー森薫 発行：学びリンク

定価：1400 円＋税

版型：四六判 190 ページ

発売：2015 年 3 月（発売中）

ISBN：978-4-902776-90-4

担当者：編集部 高橋

【お問い合わせ先】

一人ひとりに合った学びの場を提案する出版社

「学びリンク株式会社」

企業 HP：<http://manabilink.co.jp/>

ポータルサイト：「通信制高校があるじゃん！」

<http://www.stepup-school.net/>

担当者：編集部 高橋